

段さんが初優勝を飾る 第92回弁慶力餅競技大会

春の藤原まつり最終日の5月5日、「弁慶力餅競技大会」がJR平泉駅前で開かれました。
総重量160kgの巨大な鏡餅を載せた供物台を抱えて歩く弁慶力餅競技には36人の男性が出場。徳島県鳴門市の段洋司さんが39.75秒の記録で初優勝を飾りました。総重量50kgで競う女性の部では宮城県石巻市の木村紗南さんが108.1秒、同じく子弁慶の部は平泉小学校6年生の千葉龍羽くんが23.6秒でそれぞれ頂点に立ちました。



達増知事が田植え機で苗を移植 「金色の風」の田植え作業が始まる

5月8日、一関遊水地第2地区の水田で達増拓也知事による県産オリジナル水稲品種「金色の風」の田植え作業が行われました。強風が吹く中、達増知事は田植え機を運転し、水田の一面に約1万株の苗を移植。作業後はJAいわて平泉金色の風栽培研究会のメンバーらと昨年産金色の風のおにぎりを試食し、懇談しました。達増知事は「金色の風が全国トップクラスのコメとして認められるように頑張りたい」と成功への意気込みを語りました。



だるまさんがころんだ！ 子どもの集い

29年度児童福祉週間の一環として「子どもの集い」が5月11日、長島体育館を会場に開催されました。集いには、平泉と長島の両保育所、町立幼稚園や子育て支援センターを利用する親子ら130人余りが参加。園児たちは、こいのぼりが飾られた体育館で体操や遊びなどを楽しみました。
「だるまさんがころんだ」では、鬼が振り返ると素早く動きを止め、笑顔を見せつつ真剣な表情で遊ぶ園児たちの姿が見られました。



社会福祉増進へ尽力 千葉さんが厚生労働大臣表彰

千葉榮男さん(11区)は、2000年4月から16年8カ月にわたり、民生委員・児童委員として社会福祉の増進に尽力されたことから、社会福祉功労者として厚生労働大臣特別表彰を受賞しました。
千葉さんはこれまでの活動を「誠を尽くして事に当たれば、どんなことでも解決できると信じてやってきた」と振り返り、今後は町シルバー人材センターの理事の一人として、地域社会に貢献していきたいと話していました。



往時の平泉を再現 バーチャルリアリティ(VR)体験を楽しむ

4月22日、町民を対象とした「平泉の文化遺産」復元VR試写会が開催されました。町では来訪者に「平泉の文化遺産」を分かりやすく紹介するため、平安時代末期の平泉をデジタル再現したVR映像を作成しました。
試写会に参加した人たちは、無量光院跡や観自在王院跡などの対象遺跡の前でVR体験が楽しめる装置を装着。再現された往時の平泉の姿を楽しみ、歴史や文化について理解を深めていました。



桜情景の復活を願い植樹 西行桜の森まつり植樹会

4月22日、西行桜の森を会場に、西行桜の森まつり植樹会(東稲山さくらの会主催)が開催されました。
まつりには関係者約200人が参加。桜の名所として知られる東稲山の桜情景復活に向けて、大文字キャンプ場北側の約30㍍に25本のエドヒガンを植えました。
西行桜の森がある一帯は、国名勝「おくのほそ道風景地」に「さくら山」として追加指定されており、町や関係団体では計画的に桜の植樹に取り組んでいます。

世界平和に寄与していきたい 藤里明久新貫主の晋山式

毛越寺で4月23日、藤里明久貫主の就任を披露する晋山式が営まれました。県内外の寺院の住職や地元名士、檀徒総代ら約200人が参列し、新貫主の就任を見守りました。
藤里貫主は「当山の興隆と法灯護持に努め、もって世界平和、浄仏国土の顕現に寄与せんとす」と決意を述べました。
藤里貫主は同寺執事長、貫主代行を歴任。南洞頼教前貫主の勇退を受け、2016年8月1日に中興17世貫主に就任しました。



初日から大盛況 道の駅平泉がオープン

国道4号沿いに4月27日、道の駅平泉がオープンしました。県内32カ所目の道の駅で、観光振興や地元農産品販売による地域活性化の拠点だけでなく、防災拠点としても期待されています。
午前中に開かれた開所式には関係者ら約260人が出席し、道の駅平泉のオープンを祝いました。午後1時に一般に開放され、待ちわびた利用客で駅内はどっと混み、利用客は物産館での買い物などを楽しみました。